



対話の中で学びが広がる

園庭では、たくさんのこいのぼりが風に吹かれ、まるで、おしゃべりしているように楽しそうに泳いでいます。新年度がスタートし、1ヵ月が経ちました。子どもたちは、新しい環境に少し戸惑う姿も見られましたが、園庭や保育室で遊ぶ中で、自分の好きなあそびや落ち着ける場所を見つけ、元気に過ごしています。

先月の「なかよし参観日」では、保護者同士、職員との親睦を兼ね、散歩に出かけました。園で散歩に出かけた時には、写真、ドキュメンテーション、動画などで、その様子をお伝えすることがありましたが、子どもたちが、興味のあるものに近づいて触れたり、「みてみて」と、自分が知っていることを生き生きと話したりする姿を保護者の方に、間近で見させていただくことができたことをうれしく思いました。

私たち大人が、子どもたちの視線の先に何があるのだろう、という思いで、子どもたちに寄り添うことで、子どもは安心して「なんだろう？知りたい！」という気持ちに向き合うことができます。子どもの興味、関心はさまざまな人やモノとの関わりの中で変化していきます。その変化に応じて、環境も変化させていくことが、大人の役割でもあります。そのためには、子どもたちが何に夢中になっているのか、その中で何を考え、学んでいるのかを知ることや理解する事が必要です。それには、子どもたちと対話していくことが必要になります。対話とは、単に話をするというのではなく、お互いに、相手の気持ちを汲みながら心を通わせることです。そうする中で、さまざまな刺激を受け、イメージもてるようになり、「たのしさ」が膨らみ、「もっとこうしてみたい」という好奇心が芽生えます。自分の好きなあそびを選び、夢中になって遊んでいるうちに、友だちと一緒に考えたり工夫しながら「非認知能力」と言われる「くじけない心」「想像する力」「コミュニケーション力」「問題を見つけたり、解決する力」「行動する力」「やりぬく力」「我慢する力」など目に見えない「生きる力」を身に付けていきます。

保育園で過ごす0歳児～5歳児までの乳幼児期をどのように過ごすかで、子どもたちの将来が決まるといわれています。行事だけではなく、日常のあそびや生活の中で学び、成長していく子どもたちの姿や、保育者が、子どもたちの育ちにどのように関わっているかを、保護者の方にわかりやすく伝えられるように工夫していきたいと思っています。

今月25日(土)には、小学校、住民協との合同の「ふれあい運動会」が開催されます。子どもたちが、心地よい風の吹く中で、走る楽しさを感じたり、音楽に合わせて、友だちと一緒に身体を動かしたり、保護者の方と競技やダンスを楽しむ中で満足感を味わえることを願っています。

園長

お誕生日おめでとう



保育園では毎月誕生会があり、その月の誕生日児をみんなの前でお祝いします。自分の名前や「〇〇歳になりました」と言うことが嬉しかったり、恥ずかしかったり…。お家の方からもメッセージを頂いていますがお子さんの成長を振り返ったり、元気で大きくなって欲しいというねがいが書かれています。

生命の誕生は、生まれた日より10ヵ月も前であることに関心を持ってみましょう。お母さんのお腹の中で過ごした10ヵ月、家族が楽しみに待っていた10ヵ月、そして出産の時のことなどを語ってあげてください。そんな心のふれあいは自分が大切にされ、愛されていることを感じ、命の大切さ、自分自身を大切にできる人間になることの基盤になると思います。

おねがい ～子どもの安全のために～

★送り迎えの際は、必ず保護者の方が門扉や自動ドアの開閉をしてください。また、出入りの際、子どもが大人の脇をすり抜けて出る事があります。声を掛け合ってください。



絵本の読み聞かせ
地域の方の声で絵本をよんでもらって、やりとりを楽しみながら・・・
1歳児も集中!



こいのぼりを
ロープにつけます
「こうやって・・・」
ちょっと難しいけど
やってみよう

園庭で泳ぐかわいい
こいのぼり
毎年ボランティアさんから
『元気でおおきなあれ』と
願いが込められて届きます

地域の方との
つながりを大切に

いろいろなものを毛糸で
編んで持ってきてくださる
地域の方・・・
『子どもたちが喜んで
くれるのがうれしいのよ』

黒いうんち・・・
にんじん色の
うんちしてるね

子どもたちのこと、
保育園のことを
思ってくださいる地域の方
方に感謝です

地域の方が集う
コミュニティハウスの
庭でおじちゃんに
歌をプレゼント

地域の方が連れてきてくれた
「かたつむり」お世話をする中で
いろいろなことを発見!!

